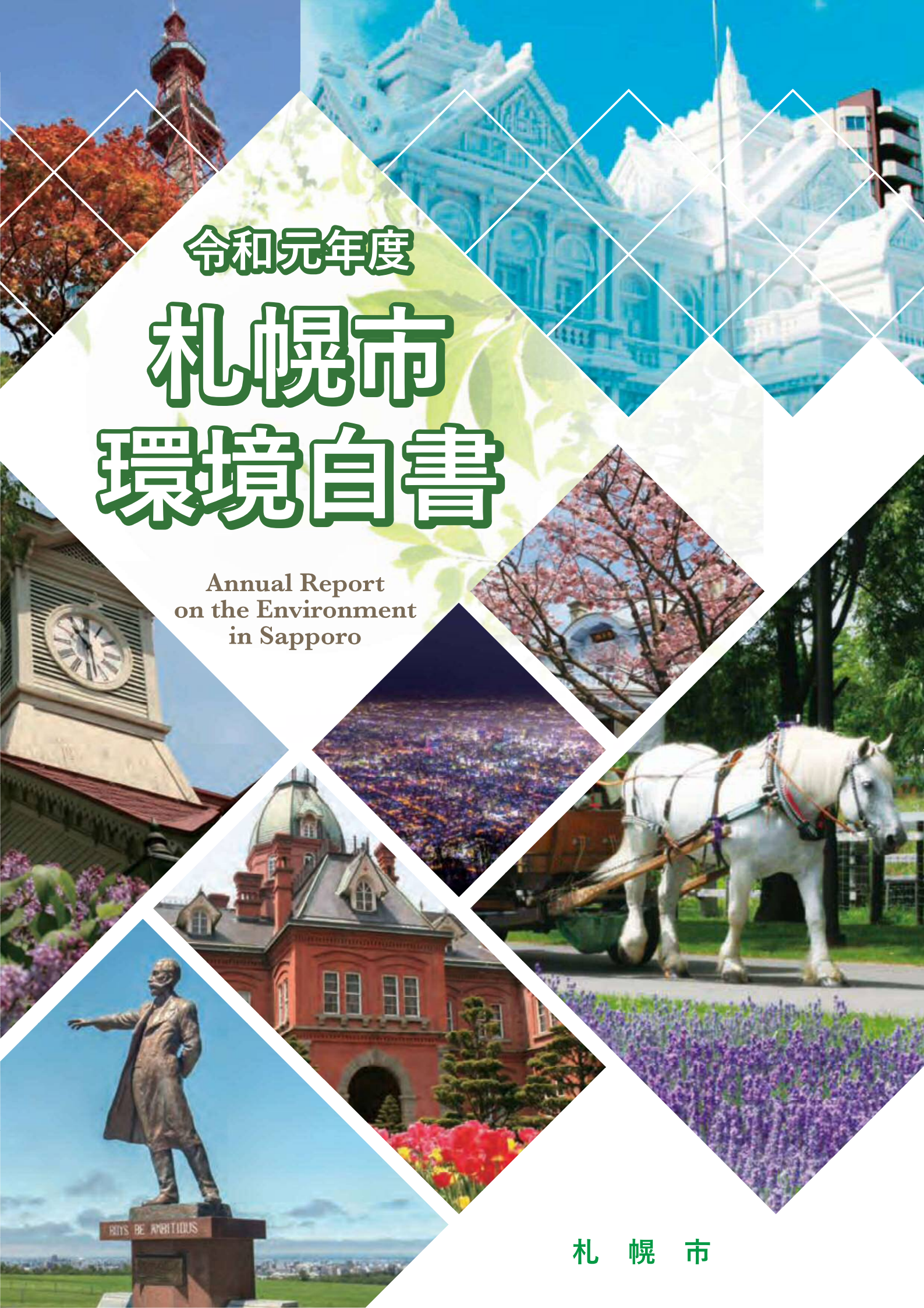




令和元年度 札幌市 環境白書

Annual Report
on the Environment
in Sapporo

札幌市



札幌市環境白書の発行にあたって

近年、環境問題は地球温暖化による気候変動をはじめ、生物多様性の喪失や急激な人口増加に伴う資源消費といった地球規模での問題や、国外からの越境大気汚染、化学物質による環境汚染、騒音、アスベスト問題、ごみ問題、みどりの減少や水辺の喪失など、複雑・多様化しています。

札幌市では、これらの複雑・多様化する環境問題に対応するため、平成10年に策定した「札幌市環境基本計画」に基づき取組を進めてきましたが、「持続可能な開発目標(SDGs)」の採択や「パリ協定」の発効など、持続可能な社会の形成に向けて国際的に取組が強化されている中、札幌市においても、これらの社会情勢を踏まえて今後の環境対策をさらに進めていくため、平成30年3月に「第2次札幌市環境基本計画」を策定しました。

第2次計画では、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」で定める都市像や、札幌市環境基本条例、北海道における札幌の責務や役割等を踏まえ、「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市『環境首都・SAPPORO』」を札幌の将来像として掲げるとともに、将来像の実現へ向け、2030年までの長期的な目標と施策の方向を示し、市民や事業者、活動団体等の全ての主体が一体となって分野横断的に取組を推進していくこととしています。

この環境白書は、第2次計画の施策体系に基づく札幌市の環境の状況及び施策の実施状況等をまとめたものです。

札幌市は、令和2年2月、持続可能な社会を実現するための1つのステップとして、「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指すことを表明しました。

皆様には、本書をご覧いただき、環境保全に関してさらにご理解を深めていただくとともに、「環境首都・SAPPORO」の実現に向け、札幌の「環境」をともに考え、行動するきっかけとしていただければ幸いです。

令和2年3月

札幌市長 秋元克広

第1章 環境に関する社会情勢

第1節 世界、日本の状況	1
第2節 札幌市の状況	2
1 市の概況	
(1) 地勢	2
(2) 気候	2
2 札幌市環境基本条例(概要)	3
3 第2次札幌市環境基本計画	4
(1) 計画の位置付け	4
(2) 計画期間	4
(3) 計画の体系	4
(4) 計画におけるSDGsの位置付け	5

第2章 施策及び環境の状況

第1節 健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現	6
1 将来像の実現に向けた2030年の姿と管理指標	6
2 施策の実施状況・課題・評価等	
(1) 良好な大気、水、土壌その他の環境の確保	6
ア 大気汚染、騒音等のモニタリングと情報提供	6
イ 大気汚染物質、騒音等の発生源対策	12
ウ 大気汚染、騒音等に関する相談対応	14
エ 有害化学物質等の摂取リスクの低減	15
オ 河川水質のモニタリング	16
カ 水質汚染の発生源対策	19
キ 地下水の保全と適正利用	22
ク 親しみを感じる川や水辺の環境維持	23
(2) 積雪寒冷な地域特性も踏まえた気候変動に対する適応対策	23
ア 大雨対策	23
イ 大雪対策	24
ウ 大雨・大雪災害時の適切な対応に向けた体制等の強化	25

第2節 積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現 26

- 1 将来像の実現に向けた2030年の姿と管理指標
- 2 施策の実施状況・課題・評価等
 - (1) 徹底した省エネルギーの推進 26
 - ア 住宅・建築物の省エネルギー対策 26
 - イ 省エネルギー設備の導入や設備運用改善の推進 27
 - ウ 市民や事業者における省エネ行動の促進 27
 - エ 自動車環境対策 28
 - オ 廃棄物の焼却に伴うCO₂削減 30
 - カ コンパクトで低炭素なまちづくりの推進 30
 - (2) 再生可能エネルギーの導入促進 31
 - ア 太陽光発電や小規模風力発電等の導入促進 31
 - イ 木質バイオマスの利用促進 32
 - ウ 未利用エネルギーの利用促進 32
 - (3) 水素エネルギーの活用 33
 - ア 燃料電池自動車の導入促進 33
 - イ エネファーム等燃料電池の利用拡大 34
 - ウ 水素の利活用における道内連携 34
- 3 本節に関連する主な関連計画とその進捗状況
 - (1) 主な関連計画の概要 35
 - (2) 主な関連計画の進捗状況 35

第3節 資源を持続可能に活用する循環型社会の実現 36

- 1 将来像の実現に向けた2030年の姿と管理指標
- 2 施策の実施状況・課題・評価等
 - (1) 廃棄物のさらなる減量に向けた2Rの推進 36
 - ア 市民や事業者におけるごみ減量や食品ロス削減の推進 40
 - イ 市民や事業者におけるリユース(再使用)行動の促進 41
 - ウ サプライチェーンにおける資源の有効活用 41
 - エ 消費意識の向上やライフスタイルの転換に向けた普及啓発 41
 - (2) 資源を有効に活用するリサイクルや廃棄物の適正処理の推進 42
 - ア 家庭ごみや事業ごみの適正な分別 42
 - イ リサイクル活動の推進 43

ウ	廃棄物の適正処理	45
エ	廃棄物が持つエネルギーの有効活用	46
(3)	災害廃棄物の対策や自治体間での連携	47
ア	災害に強い廃棄物処理体制の構築	47
イ	循環型社会の実現へ向けた自治体間での協力	47
3	本節に関連する主な関連計画とその進捗状況	
(1)	主な関連計画の概要	48
(2)	主な関連計画の進捗状況	48
第4節	都市と自然が調和した自然共生社会の実現	49
1	将来像の実現に向けた2030年の姿と管理指標	
2	施策の実施状況・課題・評価等	
(1)	生物多様性の保全	49
ア	生物多様性の理解向上・保全に向けた行動促進	51
イ	野生鳥獣(ヒグマ、エゾシカ等)に対する市街地侵入抑制や被害防止対策	52
ウ	科学的知見の充実	52
エ	地域特性に応じた自然環境の保全・創出、希少種対策	53
オ	外来種・遺伝的かく乱対策	53
(2)	水やみどりの活用、ふれあいの促進	53
ア	みどりの保全・創出	53
イ	良好な水環境の保全・維持	53
ウ	水やみどりの活用、ふれあいの促進	53
(3)	生物多様性にも配慮した良好な景観の形成	54
3	本節に関連する主な関連計画とその進捗状況	
(1)	主な関連計画の概要	55
(2)	主な関連計画の進捗状況	55
第5節	環境施策の横断的・総合的な取組の推進	56
1	将来像の実現に向けた2030年の姿と管理指標	
2	施策の実施状況・課題・評価等	
(1)	幅広い世代への環境教育・学習の推進	56
ア	学校・地域・企業等で行われる環境教育活動への支援の充実	58
イ	人材育成、市民・事業者等の協働による環境保全活動の推進	58

ウ	環境保全活動の実績等に係る情報収集・発信	58
エ	環境問題や持続可能な都市への理解を促すための普及啓発	59
(2)	環境側面からの経済振興	59
ア	環境産業の振興	59
イ	事業者におけるエネルギーや廃棄物処理コストの削減	59
ウ	事業者による環境活動の普及支援	60
エ	都心部における環境配慮型まちづくりの推進	60
オ	札幌の魅力向上に向けた取組の推進	60
カ	水素関連技術や製品の普及と利用拡大	60
(3)	環境保全活動を通じたコミュニティの活性化の推進	60
ア	環境保全対策に資する地域活動の拡充	60
イ	地域における実践主体の育成	61
ウ	幅広い年代が参加できる環境保全活動の機会の創出	61
(4)	道内連携、様々な主体との連携の推進	62
ア	環境保全活動を通じた道内事業者への支援の拡充	62
イ	環境体験等を通じた道内自治体との連携	62
ウ	道内サプライチェーンの構築に向けた道内自治体や事業者等の連携	62
エ	研究機関や道内自治体との連携による新たな環境産業の創出	62
オ	市民団体や町内会等との連携	62
カ	国際的なネットワークの拡大	62
キ	環境影響評価(環境アセスメント)制度の運用	64
3	本節に関連する主な関連計画とその進捗状況	
(1)	主な関連計画の概要	67
(2)	主な関連計画の進捗状況	67

参考資料

1	札幌市環境基本条例	68
2	環境基準等	70
3	札幌市の環境保全年表	91
4	環境保全に関する問い合わせ先	95

○本書の構成について

第1章では、環境保全に関する世界や日本の状況、札幌市の環境の特徴、第2次札幌市環境基本計画等、環境施策を推進する上での背景や基本的な情報を、第2章では、各分野における札幌市の環境の状況、施策の実施状況等を掲載しています。

第2章は全5節からなり、それぞれの節は第2次札幌市環境基本計画で定める5つの施策の柱に対応しています。